



大樹のこころ

シン・大樹寺小

本日、新任式・始業式・入学式が無事に行われ、令和5年度がスタートしました。新しいクラス、新しい担任も決まり、子供たちは希望に満ち溢れていることでしょう。私たち教職員も一緒です。新たな仲間となる子供たちとの出会い。この出会いに胸躍らせています。この子供たちと一緒に良いクラスを作っていきたいと、どの先生も意気込んでいます。

さて、「どうする家康」の放映と共に活気あふれる大樹寺学区ですが、今年度は本校にとって3つの理由から、大きな1年となります。一つ目の理由は、「創立150周年」を迎えることです。12月2日(土)が創立記念日。この日に記念式典を行います。それに向けて様々な試みを行っていきます。5月には航空写真を撮影します。全校児童が運動場に勢ぞろいしての記念撮影。この写真は販売もする予定です。記念誌も作成していきいますが、時代に合わせて冊子ではなくDVDの形にしていきます。DVDですので、動画の収録が可能になります。今年度の各行事や平素の授業の様子、学級紹介なども盛り込んでいく予定です。式典当日の出し物などについては、まだ秘密です(笑)。

二つ目の理由は「中校舎全面改築」です。運動会後の11月頃から工事が始まります。中校舎の教室を3つの工期に分けて、少しずつ改築していきます。そのために体育館横に「仮校舎」を建て、工事中の当該クラスが引っ越しをしていきます。現在の駐車場が「資材置き場」に代わり、運動場の東側が仮駐車場となります。そのため、運動場がたいへん手狭になってしまいます。体育の授業や部活動などに影響が出てくるのが予想されます。この工事は令和5年度から6年度の12月頃まで行われます。同時期に南校舎にエレベーター設置の工事も実施されます。

三つ目の理由は、「研究推進」です。本校は市教委から「学習指導」をテーマに3年間の研究委嘱を受けました。令和7年度に研究発表会を行うこととなります。この発表会に向けて、子供たちの力をより伸ばすための授業法について研究を推進していきます。どのような授業法が効果的なのかを検証し、模索する1年となっていきます。

このように今年度は150周年という「区切りの年」であり、校舎改築という「変容の年」であり、新たな研究推進という「改革の年」でもあります。様々な顔を持つ令和5年度。まさに「シン・大樹寺小」の始まりです。全校児童587名、27クラスでのスタート。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて、より良い学校にするように教職員一同、奮闘努力していきます。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

